



## 水が豊かだったころの三宝寺池へ 石神井公園再生フォーラム

### 高校生がたくさんあつまった

今日は2日間行う落ち葉掃除の初日です。池の周りの掃除は、公園の管理事務所を通して、業者に依頼されているので、その場所以外のところ、それから、公園の管理事務所から「ここをお願いします」と言われた場所を重点的に落ち葉そうじをすることになりました。最初に集まった参加者は、石神井公園再生フォーラムのメンバー4人と井草高校の生徒さんが17人！どうやら学校のカリキュラムである「奉仕の時間」でやってきたようです。若い力が何とも頼もしい限り。作業を始めるころには、さらに高校生も団体参加者も増えてきました。

### 落ち葉でたのしく掃除だ！

各自ゴミ袋を手には作業開始。見渡すかぎりの落ち葉の量、あっというまに落ち葉があつまります。でっかい山を作ったり、ゴミ袋いっぱい落ち葉をリヤカーに積んでは、「焼き芋やりたいねえ〜！」とあちこちで盛り上がります。あまりの勢いでいっぱいになっていく袋をみて、急遽、団体の方がゴミ袋を買い出しに行く次第。

途中、遊具の周りまで落ち葉をきれいに掃除していたら、子供たちが落ち葉で遊ぶために残しておいてください！と管理事務所の方に注意されるハプニングもありましたが、みんな楽しみながら落ち葉掃除を行っていました。ちなみに、今回集めた落ち葉は、堆肥として欲しい方にあげたり、公園内で腐葉土を作ったりするそうです。帰りはリヤカーに乗って集合場所へ戻り、みんなで綺麗になった公園をみながら、おつかれさまのあいさつをしました。

たくさんのゴミ袋を運ぶにはリヤカーが大活躍ですね



**石神井公園にある三宝寺池の水は、今ひどく汚れています。その理由として、池の中に木の葉が大量に沈殿し、ヘドロ化していることや、湧水が減り、水の流れがほとんどないことが挙げられています。**  
**その三宝寺池を守るために、石神井公園再生フォーラムが主催している、落ち葉そうじ活動と、講演会に参加しました。**



### 講演会をひらく

後日、1月12日には、講演会『三宝寺池の湿性植物群落の復元について』が開かれました。参加者は25名。愛植物設計の趙賢一さんがこれまで三宝寺池で行われてきた復元化計画について、調査の現状や、展望などについて話をされてました。質疑の場面では、石神井公園の水質や水量に関することや、住みついてくワウのことなど、みなさんとも熱心に質問をされていました。



→ お〜、結構あつまったな！



← どんどんゴミ袋が増えていく



→ 葉っぱには昆虫が隠れていたよ



← お〜い、集合だぞ〜！



→ 円陣になっておつかれさま！のあいさつを



← 参加者から頂いたミカンをお土産に

石神井公園再生フォーラムの

真野さんに

聞きました。



## Q. 三宝寺池に注ぐ、湧水を増やすために何か考えていることはありますか？

周囲の降水を下水に流入させず直接池へと流入させて、三宝寺池になるべく雨水を注入すること。将来、外環工事が始まったときに排水しなければならないトンネル内の湧き水をこの池に放流するように働きかけたいと考えています。

## Q. 活動をする上で一番苦勞していることは何ですか？

何かひとつのことをやるにも逐一、東部公園事務所の承認が必要なので、時間がかかってしまうこと、承諾の返事が遅いことがあります。また、作業参加をしてくれる会員がまだ少ないことも悩みですが、活動の回数を重ねるに連れて少しずつ増えています。



### ALWAYS (いつもいつまでも)

石神井公園再生フォーラムが年に4回発行しているA3両面のニュースレター。石神井公園にまつわる話、練馬区や他の地域の環境に対する取り組み紹介、みどりや昆虫の情報と盛りだくさんです。落ち葉そうじの報告も写真入りでいち早く取り上げています。このニュースレターによると、この日の落ち葉は、2時間半で140袋も集めたようです！

「魅力ある石神井公園を考える」地域集いのチラシ  
毎回多彩なゲストをお呼びしています。



練馬まちづくりセンターは

## “まちづくり活動助成事業”で、

石神井公園再生フォーラムの活動を応援しています。まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうこと に対しての助成です。

【テーマ部門】身近な場所で生き物を呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

## 石神井公園 再生フォーラム について



活動暦 3年

活動テーマ

石神井公園を市民力を生かして  
再生・復活を図る

—公園整備のお手伝いをし、併せて両池の水の浄化を進める—

活動実績

親子で参加する自然体験活 (2005)

石神井川流域連絡会 ほか (2006)

石神井公園再生フォーラム 発足 (2007)

活動場所

都立石神井公園



団体連絡 03-5910-7056 (佐藤)

## 取材日記

何よりも高校生がたくさん参加していることに、とてもビックリしました。

『三宝寺池は、湧水が少なく、今では地下水をくみ上げて流している』と、石神井公園再生フォーラムさんの機関紙『ALWAYS(オールウェイズ)』に紹介されていました。

落ち葉が池に大量に入り込まないようにすることは、水質を守るために必要なことかもしれませんが、一方、落ち葉を拾いすぎると、土地の保水力が落ちてしまいます。これは、三宝寺池に流れ込む湧水の量を減らす要因にもつながってしまうのです。

「これが正解」というものはないのかもしれませんが、自分の行為に対して、いろんな角度から考えることの重要性を感じました。